

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	木遣とヨイク - 伝統の声が創る新しい諏訪の力
事業主体 (連絡先)	木遣とヨイク新しい諏訪の力実行委員会 (会長：藤田然 fujita-zen@fujimikogen-resort.co.jp)
事業区分	教育及び文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	4,422,202 円 (うち支援金：2,830,000 円)

事業内容

諏訪地域の「木遣」は、木遣師の高齢化により、承継が難しくなりつつある。この事業では世界との協働を通じて、伝統文化としての木遣の価値を見直す新しい視点を創り出した。

1. 諏訪の木遣・ノルウェーのサーミ民族による伝統の声の共演

- ・2018年11月11日(日) 茅野市民館コンサートホール
- ・出演：茅野市木遣保存会、ノルウェー国立サーミ劇場・南サーミ劇場

2. (関連イベント) ノルウェー社会を学ぶワークショップ

【自然保全】蓼科の自然の中、ノルウェー絵本を使い親子で自然保全を学ぶ(5/26) 【学生の国際交流】諏訪地域の高校生とノルウェー大使館外交官との対談(諏訪実業高校(6/12)、諏訪清陵高校(9/6)) 【男女共同参画】働く女性とノルウェー大使館外交官とのワークショップ(9/6)

【平等な社会】北欧映画「サーミの血」上映会(10/14)



【茅野市民館公演】

【目標・ねらい】

- ① 諏訪の木遣の文化承継の促進
- ② 諏訪地域の将来づくりに向けて、学生や女性を啓発
- ③ ノルウェー大使館とのワークショップ体験を通じて、学生の国際意識を高める

事業効果

1. 「木遣とヨイク」公演実現のため、約80名の地域市民が、主体的にその運営に関与した。うち20名の高校生に、ノルウェー大使館など海外の来賓対応を通じて、国際的な交流の機会を提供した。
2. 新聞やテレビなどメディアと積極的に連携し、本事業および諏訪の木遣を地域内外に紹介。
 - ・信濃毎日新聞(諏訪版朝刊計6回)、NHK長野全县ニュース(11/12に3回放映)、LCVニュース放映(11/12に放映)
 - ・LCV特別番組：27分間番組に編成し、2019年2月に放映予定
3. 共演イベント観客を通じて地域の魅力を幅広く発信。
 - ・観客約200名のうち2/3を、東京など他県から集客。
4. 関連イベントにのべ500名が参加。諏訪地域の将来づくりに向けて対話を行う機会を創出。

※自己評価【A】

【理由】

- ・世界との文化交流を、地域の伝統文化継承に活かす新たな視点の実現
- ・メディアとの積極的な協働および諏訪地域内、さらに首都圏・海外への告知
- ・茅野市木遣保存会の木遣保存に対するさらなる意識の醸成

今後の取り組み

茅野市木遣保存会は、今回の「木遣とヨイク」共演の成功を基礎に、木遣の持続的な承継に向けて、活動を発展させることを計画中。(1) 茅野市木遣保存会は、2020年10月にノルウェーに渡航し、ノルウェー国立サーミ劇場・南サーミ劇場にて共演することを計画。(2) その公演に向けた木遣の認知向上と支援のため、茅野市の木遣を茅野市無形文化財登録するための申請活動に取り組む。(3) 次回御柱祭(2022年)に向けて、国内・外国人観光客向けに、木遣を通じて御柱祭を紹介するイベントを行うなど。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある